

テーマ 【名古屋市子どもの権利相談室「なごもっか」について】

調査期間 令和7年12月10日から令和7年12月16日

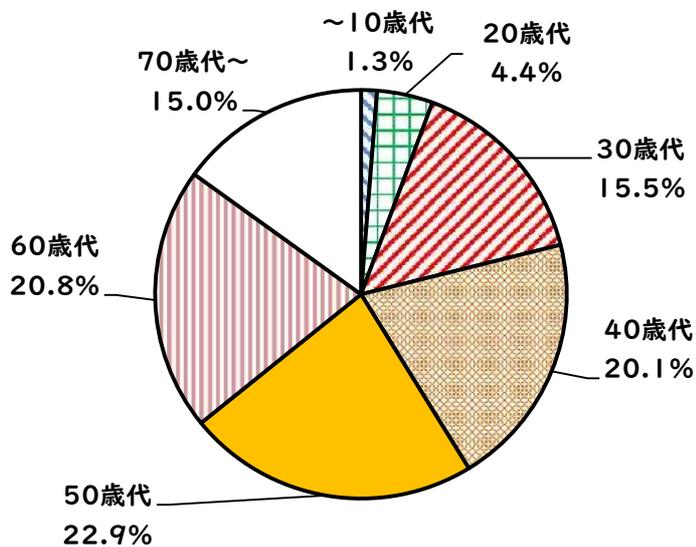
担当課 子ども青少年局子ども未来企画課

回答者数 1,118人

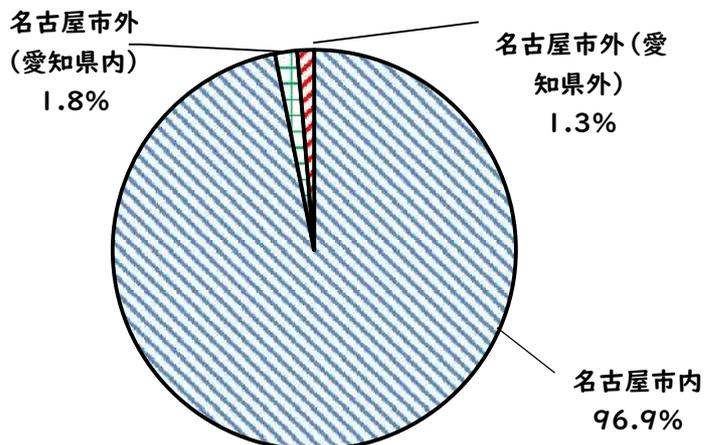
属性

年齢	回答数	比率
～10歳代	14	1.3%
20歳代	49	4.4%
30歳代	173	15.5%
40歳代	225	20.1%
50歳代	256	22.9%
60歳代	233	20.8%
70歳代～	168	15.0%

アンケートにご協力いただき、
ありがとうございました。
いただいたご意見・ご提案を参考に、
子どもの権利が守られる社会の実現を目指して、
今後とも取り組んでいきます。



住居地	回答数	比率
名古屋市内	1,083	96.9%
名古屋市外(愛知県内)	20	1.8%
名古屋市外(愛知県外)	15	1.3%



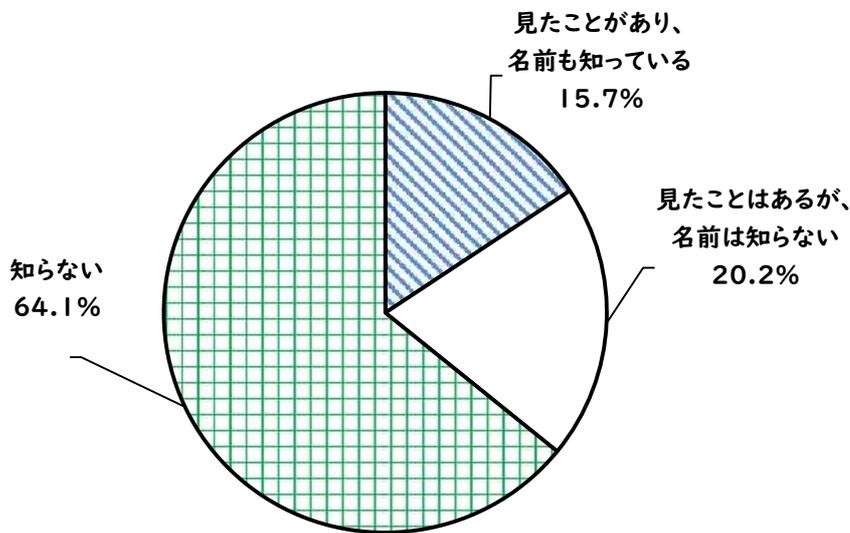
質問
単一回答

Q3. このキャラクターを知っていますか。



回答者数 1,118 人

選択肢	回答数	比率
見たことがあります、名前も知っている	175	15.7%
見たことはあるが、名前は知らない	226	20.2%
知らない	717	64.1%



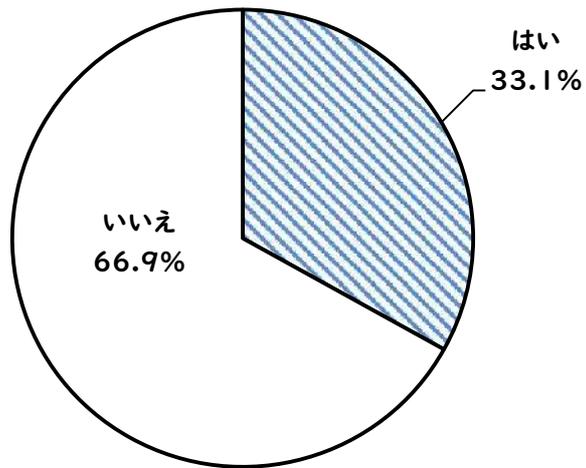
なごもっかマスコットキャラクター「なごもん」です。
子どもみなさんからデザインや名前を募集して誕生しました。

質問
単一回答

Q4. 名古屋市子どもの権利相談室「なごもっか」を知っていますか？

回答者数 1,118 人

選択肢	回答数	比率
はい	370	33.1%
いいえ	748	66.9%

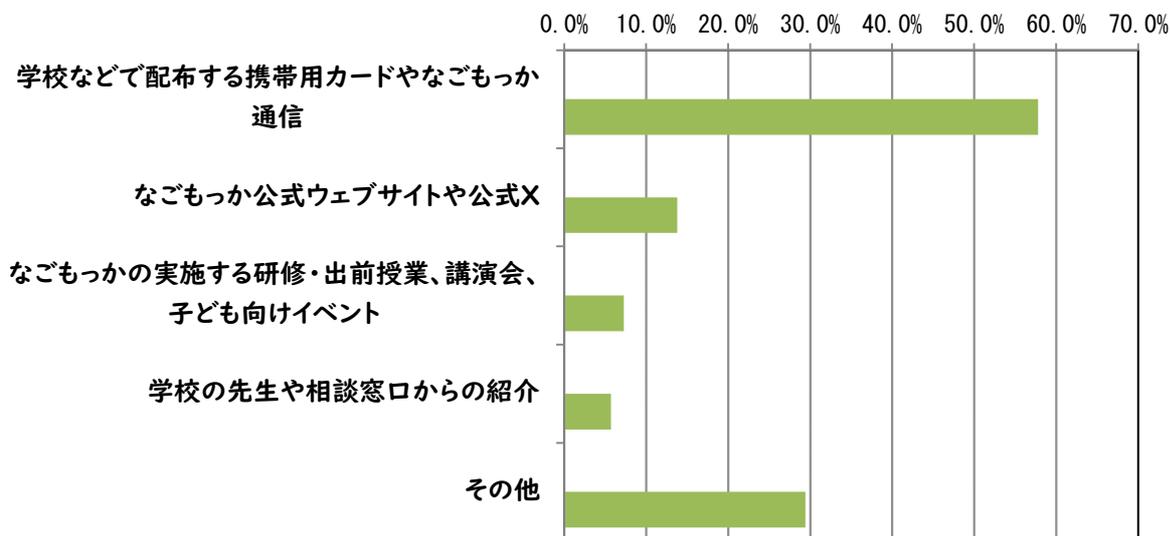


質問
複数回答

Q5. (Q4で「はい」と回答された方にお聞きします。)
「なごもっか」を知ったきっかけは何ですか？

回答者数 384 人

選択肢	回答数	比率
学校などで配布する携帯用カードやなごもっか通信	222	57.8%
なごもっか公式ウェブサイトや公式X	53	13.8%
なごもっかの実施する研修・出前授業、講演会、子ども向けイベント	28	7.3%
学校の先生や相談窓口からの紹介	22	5.7%
その他	113	29.4%



Q6 (Q5で「その他」と回答された方にお聞きします。)
「なごもっか」を知ったきっかけを具体的にご記入ください。

【抜粋】

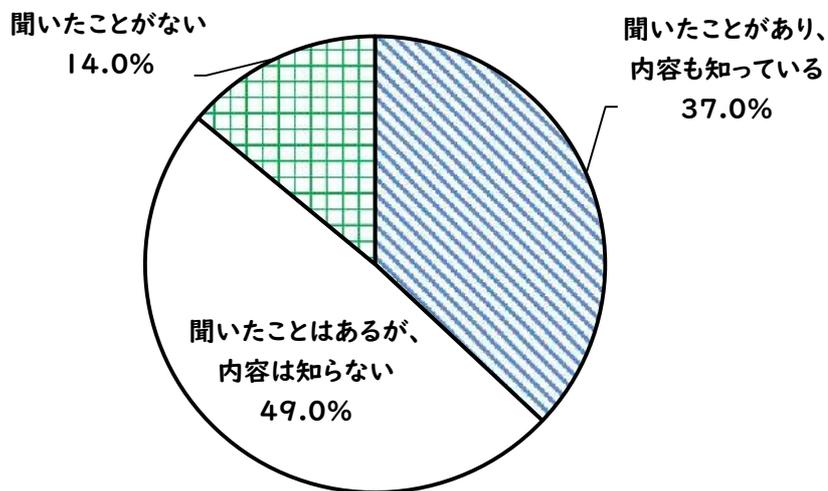
- ・地下鉄広告
- ・名古屋市公式LINE
- ・広報なごや
- ・新聞記事
- ・調剤薬局のポスターやカード

質問
単一回答

Q7. 「子どもの権利」という言葉を聞いたことがありますか？

回答者数 1,118 人

選択肢	回答数	比率
聞いたことがあります、内容も知っている	414	37.0%
聞いたことはあるが、内容は知らない	548	49.0%
聞いたことがない	156	14.0%

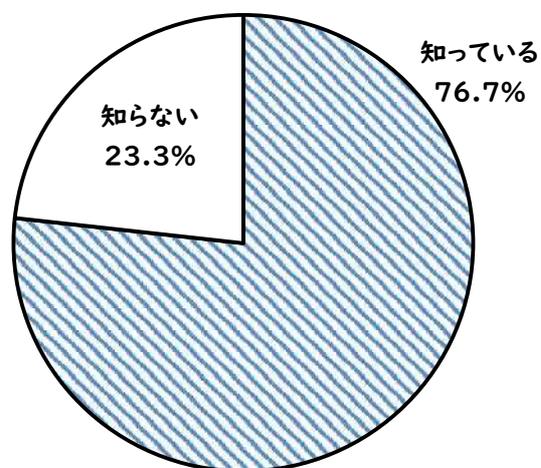


質問
単一回答

Q8. 子どもの権利は、全ての子どもが生まれながらに持っている権利、つまり、子どもの人権であることを知っていますか？

回答者数 1,118 人

選択肢	回答数	比率
知っている	858	76.7%
知らない	260	23.3%



質問

Q9.子どもの権利や「なごもっか」について自由にご記入ください。

たくさんのご意見・ご提案、ありがとうございました。
全ての回答をなごもっか職員で共有させていただきます。
この資料では、普及啓発の方法等へのご提案について抜粋してご紹介します。



子供が人として大切にされるべき権利は、とても大切で、素晴らしいと思いました。自分が子供の頃には無かったし、もし存在していても相談できたかどうか分かりません。ちょっと相談しようかなと、もっとなごもっかが子供達に近い存在になるよう働きかけが、もっと必要だなと感じています。社会見学や、特活などで、実際に相談して体験学習させてみるなどすれば、現実では言えない子の問題が浮上するかもと思います。

相談先として電話番号などがあったとおもいます。しかしどれも(小学生の)子どもにとって気軽に使えなさそうだと感じました。特に最近では大人が各自スマホを持っていて子どもが家庭に自由に使える電話機がありません。“お年頃”になると友達とのトラブルを親には聞かれたくないというのはよくあります。学校から配布されているタブレットでテレビ電話などを使って相談できれば子どもにとって利用しやすいのではないのでしょうか。

悩みを持った子供達の捌け口、救いの希望があるという点で、とても良い取り組みかと思います。ただ、子どもの権利を考慮することにより、親である大人が何となく窮屈な気持ちになってしまう事もあるかと思います。私も、今の子供達には、あれしてはダメこれしてもダメ…と思うと、時に行き詰まったような気持ちになります。親もまだまだ完璧な人間ではありません。いつも理想通りの行動が取れるわけでもありません。同時に親のケアもあるといいな、と思います。

どのような目的で設立されたのか、どのように利用するか等々、もっと積極的に発信して欲しい。このアンケートも内容がわからない。

困っている子にも広く逃げ場がある!ということを知る機会があり寄り添ってくれる確かな人との出会いがありますようお願いばかりです、学校や交番或いは子ども食堂など子が頼れる所があり広がるといいですね。

子どもが親や家族、友達以外の人に相談できる人、場所はあったほうがいいと思います。子どもが構えずに相談できて、その場の気休めだけじゃない、時には早急な対応にもつなげられるものであってほしいと思います。

チラシで少しだけ内容を見たが、あるのはわかったが、具体的な権利侵害の実例や侵害された場合どのようになるか?が分かりにくいと感じた

各区に、子どもの権利を実感できる施設や定期的にイベントがあるといいと思う。
特に子どもたちにそれを知ってほしい。
私達は、知らないまま大人になっているから。

子どもが権利の主体であると同時に発達途上の存在であり守られるべき存在であることを啓発していただきたいです。子どもの権利を訴える主張の中には子どもの自己決定を盾に子どもを危険な方向に誘導しかねないものも散見されます。

パンフレット等で、見かけることはあるが、実際何なのかは分からない。
いじめの相談室とは違う?どんな時に必要な取り組みか、イメージがわからない。

<p>子どもの権利が当たり前のものとなるようにまずは大人がしっかり学ぶべきだと思う</p>
<p>子供が相談できる所があるということ、学校などで発信していますか？ 学校や、トイレや子供が行く場所で発信して沢山の子供達が知っているといいと思います。 あと無料でとはいいますが、家からかけられない子、携帯を持っていない子のためにどこか電話ができる場所も作ってほしいです。</p>
<p>話を聞いてもらっても意味がないと諦めている子も多いです。実際に相談から解決につながった事例を子どもにも紹介してはどうでしょうか。 また子ども自身では電話できないため、生活範囲内で、子どもが直接駆け込めるような窓口があると良いと思います</p>
<p>子どもと接することの無い大人も含めて、子どもたちが、心豊かに成長するために何が必要かを考える啓発活動をもっと進めたらと思います。</p>
<p>施設の詳細が全くわからないので、駅のポスターや学校でチラシの配布・周知をするなどして、親も子供も認知度が上がるようにしてほしい。</p>
<p>小学校や中学校で、子どもたちに向けての出張授業や保護者へ向けての教育セミナーなどを積極的に開催してほしい。</p>
<p>チラシなど自宅に持ち帰ってくるので知っています。ただ、なごもっかの活動が必要な子は家や学校などみんなの見ているところでこのチラシをじっくり眺められるでしょうか？もし可能なら、学校のトイレの個室など、じっと読んでいることが誰にも知られない、安全に情報を得られる場所で掲示されるとよりよいと思います。よろしく願います。</p>
<p>各区にあるといい。専門職の養成にも力を入れて欲しい。</p>
<p>何を相談できるかわかりにくい</p>
<p>子供の相談室がコンビニくらい沢山あったらいいと思う。 本当に困ってる子ほど連絡できない。 色々な場所に子供の味方が居るといい。 どこの子、うちの子とか関係なく皆んなで子育ては出来ないのかな。</p>
<p>こどもの権利条約について、子どもたち自身も、こどもたちに教える立場である大人も知らなすぎると思っています。たくさん時間ではなくいいので、小学校のカリキュラムに組み込んでいただきたいことの一つです。(恐らく教科としては道徳が一番組み込みやすいと考えます。) 周囲がこどもたちの言いなりになるとか、好き勝手にしていいとかではありません。こどもたちは愛されて生き、すくすくと育ち、「こどもだから分からないだろう」と排除されることなく参加する権利があるのだということを、身近な大人たちにも知っていただきたいです。</p>
<p>大人世代の人が、もっと深い関心を持ち、日常生活の中で子どもの権利を守る意識を高め、実践してほしい。</p>
<p>地域を含め 社会全体で 子どもの人権を認め守ることができたら いいと思っています。</p>
<p>子どもの権利について悩んでいる子ども自身は助けてほしいという発信がなかなか難しいのかしれません。小学生からスマホ、LINEを使える子も増えていますが、親目線から電話することは今時ハードルが高い気がします。 子どもがもっと発信しやすい環境を身の回りの大人が整えてあげられたらなと思いました。</p>

本当に悩んでいる全ての子どもが相談出来る環境にいるとは限らないと思うことがあります(親の目が厳しくて電話をかけづらい、干渉され過ぎている、スマホを必要以上に管理されているなど)。また連絡したところで適切な助言や解決策が得られるのかも気になるところです。昨今SNSで小中高生が大人に対して悩み事などを相談したにもかかわらず不信感や不満を募らせている意見を見かけることがあります。なごもっかのような相談機関が悩んでいる、つらい思いをしている子が本当の意味で和らぐ、安心出来るような確かな助言が提供出来る場であるか問われているように思います。1人でも多くの子がせめて安心感だけでも得られるよう、相談窓口の皆様には努めて頂きたいと思います。

子どもたちに早いうちにこのことを学ぶ機会を与えてください。

まだまだ認知が広まっていないし、知っていても言葉だけになっている感じはあります。ただ大人も含めたすべての人の権利が社会的に保障されているかという点もまだまだなので、全体の権利意識を高めることも大切だと思います。

小中学校などに専門職の人がいると身近で気軽に相談などできますね。でも、子どもも大人もこどもの権利を知るためには、様々なイベント開催も必要かと感じます。

なごもっかが載った案内を定期的にもらうので認知しやすかった。電話番号も書いてあると一緒に公衆電話のかけ方(絵など)も載せてあると子どもは電話しやすいかもと思った。スマホでは履歴残るのもあったり、スマホもなく家で話せないこともあると思うため。

子どもの権利について、小学校から授業中などで、特別な課外授業とかではなく、定期的な授業として、伝えていけるといいと思いました。